

実践アジア社長塾／2021年1月19日(火)

「アジアの今、アジアの現場 ~バンングラデシュ~」

**アジア大洋州住友商事会社
ダッカ事務所 高橋・田川**

高橋 一郎 (ダッカ事務所 所長)

- 1991年4月 【日本】 鋼材貿易第一部
- 2002年2月 【台湾】 台湾住友商事会社 台北事務所 (台北)
- 2002年10月 【尼国】 PT. Super Steel Indah (ジャカルタ)
- 2005年2月 【日本】 名古屋鉄鋼第一部
- 2009年9月 【中国】 長春一汽宝友鋼材加工配送有限公司 (長春)
- 2013年11月 【日本】 特殊鋼板事業部
- 2018年4月 【バ国】 アジア大洋州住友商事会社 ダッカ事務所 (ダッカ)

田川 智晴 (ダッカ事務所 所長代理)

- 2008年4月 【日本】 総合物流部／住商グローバル・ロジスティクス株式会社
- 2010年6月 【タイ】 Sumisho Global Logistics (Thailand) Co., Ltd. (チョンブリー)
- 2014年6月 【日本】 海外工業団地部
- 2018年4月 【バ国】 アジア大洋州住友商事会社 ダッカ事務所 (ダッカ)

1. バングラデシュの概要

- 1-1. バ国に対する一般的なイメージ
- 1-2. バングラデシュ概況
- 1-3. バングラデシュの立地(地政学的優位性)
- 1-4. ベンガル湾産業成長地帯(= Big-B※)
- 1-5. 日本との友好関係・円借款供与額の推移
- 1-6. JICAによる主なODA案件
- 1-7. 主なインフラ開発案件(日・中・印)
- 1-8. バングラデシュの政治状況
- 1-9. バングラデシュの治安状況
- 1-10. バ国とアジア諸国との比較
- 1-11. 日本の一人当たり名目GDP推移とアジア諸国
- 1-12. バングラデシュの世帯所得分布
- 1-13. 耐久消費財の普及率
- 1-14. 携帯電話の普及率
- 1-15. 地場コングロマリット×外資
- 1-16. バングラデシュ進出日系企業の事業
- 1-17. バングラデシュ進出日系企業数の推移
- 1-18. バ国進出済み日系企業の評価
- 1-19. COVID-19感染状況
- 1-20. バングラデシュの医療事情
- 1-21. バングラデシュに対する評価
- 1-22. バングラデシュの実質GDP推移と成長率
- 1-23. 外国直接投資／累積・投資国別
- 1-24. バ国の潜在力とこれから

2. バ国における経済特区事業

- 2-1. 住友商事の工業団地事業
- 2-2. 工業団地とは
- 2-3. バ国の世銀Doing Business評価
- 2-4. 開発経緯
- 2-5. バ国政府に対する提案事項(2016年11月提出)
- 2-6. バ国政府との合弁契約書締結(2019年5月)
- 2-7. バングラデシュ経済特区
- 2-8. バングラデシュ経済特区へのアクセス
- 2-9. 開発区画(基本設計)・周辺インフラ
- 2-10. 洪水対策／バ国政府による盛土工事
- 2-11. バングラデシュ経済特区／ブランド・ロゴ
- 2-12. 開発サイト(造成工事前)
- 2-13. サインボード
- 2-14. エントランス
- 2-15. エントランス航空写真
- 2-16. 盛土工事(2020年12月)
- 2-17. 盛土工事(2021年1月)
- 2-18. バングラデシュ経済特区の優位性
- 2-19. バングラデシュ経済特区のミッション

1. バングラデシュの概要

スラム 教育問題
貧困・最貧国

ロヒンギャ難民

国際機関による支援

NGO大国

サイクロン 衛生問題

縫製製品 輸出額世界第2位

自然災害

洪水

縫製業

豊富な人口

安価な労働力

巨大デルタ地帯

人口 世界第8位

カレーが主食

インド・ミャンマーに隣接

人口密度 世界第1位(除く都市国家)

南アジア

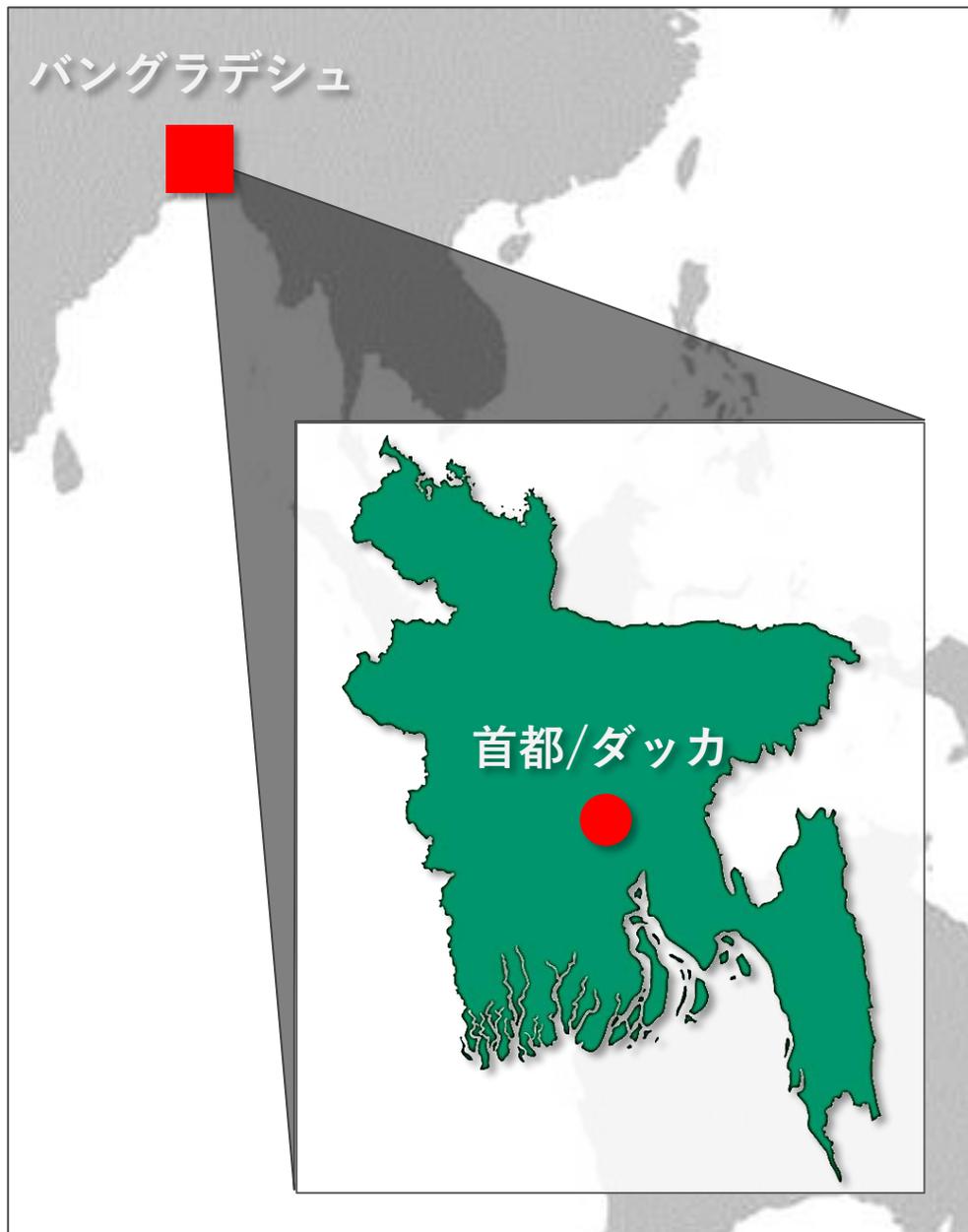
イスラム教

親日国

インド・パキスタンから独立

日本と似ている国旗

1-2. バングラデシュ概況



■ 一般情報

(出典：JETRO, 外務省, バ国中央銀行)

正式国名	バングラデシュ人民共和国
人口	1億6,555万人
面積	14万7,570km ² = 日本の約4割
首都	ダッカ / 約2,000万人
公用語	ベンガル語 / 識字率72.9%
民族	ベンガル人、他
通貨	タカ (※1タカ ÷ 1.2~1.3円)
宗教	イスラム教 約90%、ヒンドゥー教 約9%、他

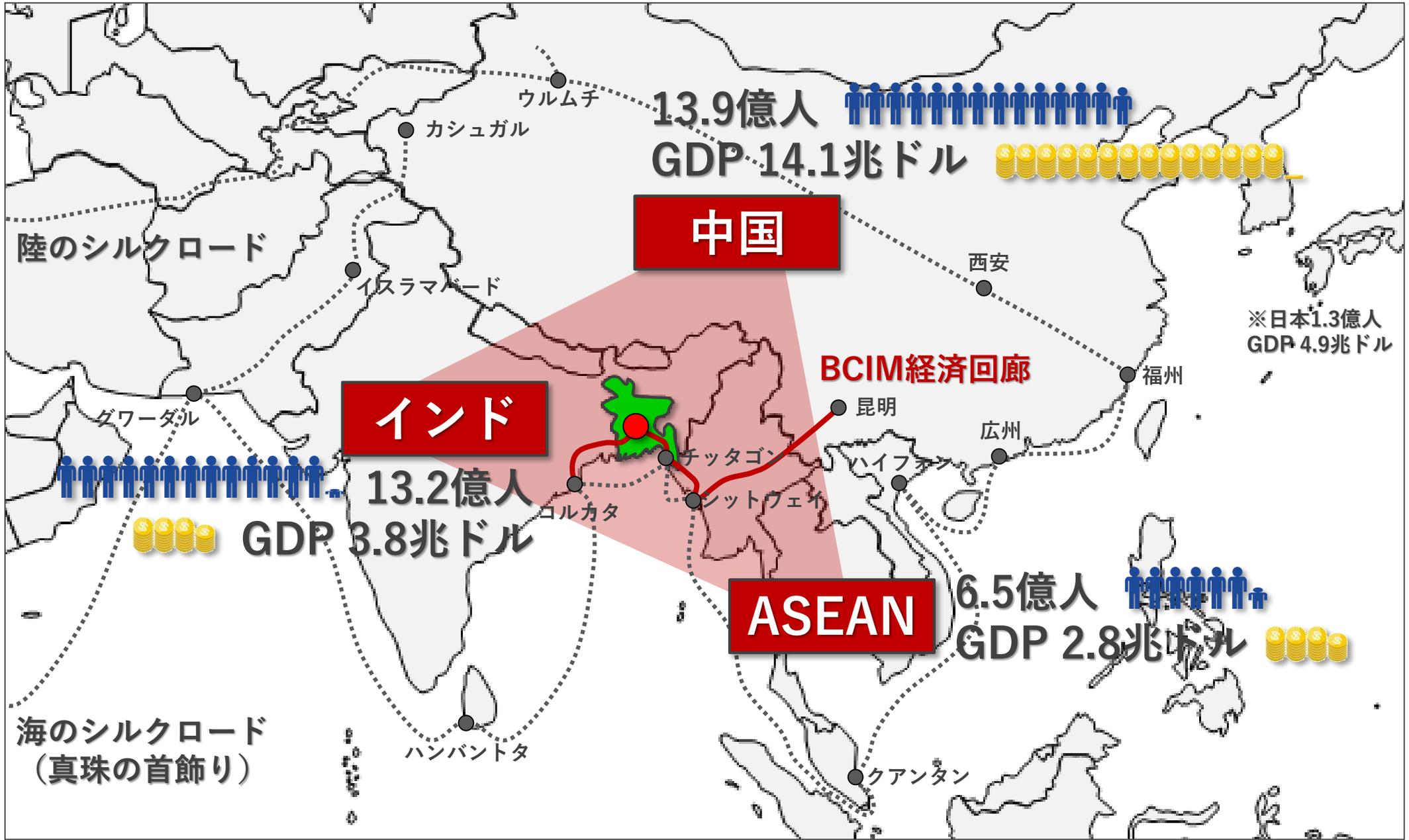
■ 経済情報

実質GDP	2,099億ドル、一人当たり1,855ドル
経済成長率	2018/19年度 8.15%、2019/20年度 5.24%
輸出額	405億ドル (※縫製加工品が8割以上)
輸入額	560億ドル (※機械・鉄鋼製品が5割ほど)
日系企業	310社、在留邦人946名

■ 政治情報

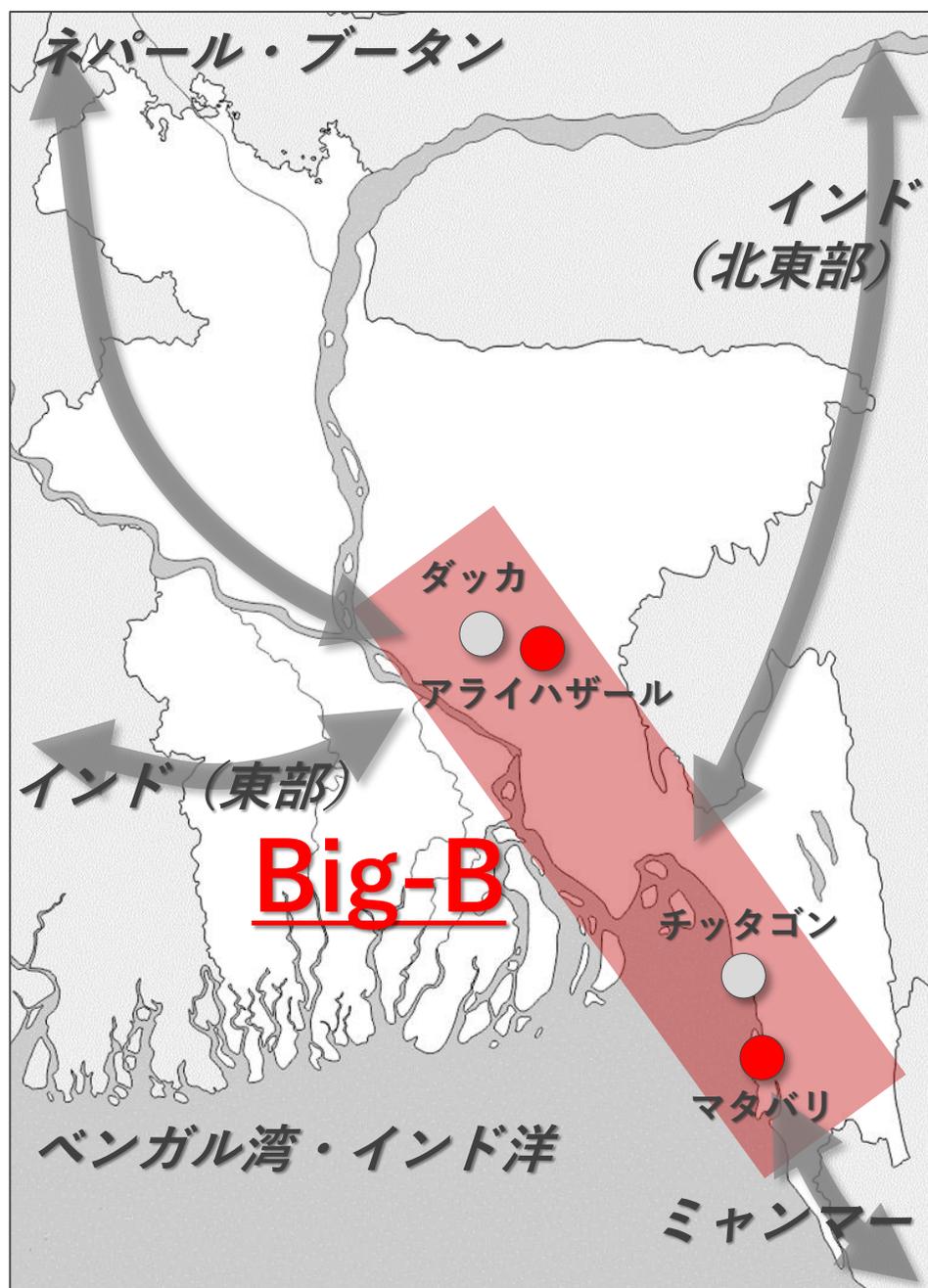
政治体制	共和制、一院制
首相	シェイク・ハシナ (※与党：アワミ連盟党)

1-3. バングラデシュの立地(地政学的優位性)



1-4. ベンガル湾産業成長地帯(= Big-B※)

※The Bay of Bengal Industrial Growth Belt



- Big-B域内：
- 人口…30%
 - GDP…50%
 - 国際貿易…85%

日バ首脳共同声明 (2014年9月)

- 1) 経済インフラ開発
※ マタバリ超々臨界圧石炭火力発電EPC
 - 2) 投資環境の改善
※ アライハザール日本経済特区
 - 3) 連結性の向上
- 当社として既に重要案件を確保
→ 日バ両政府と歩調一致

今後の課題として…

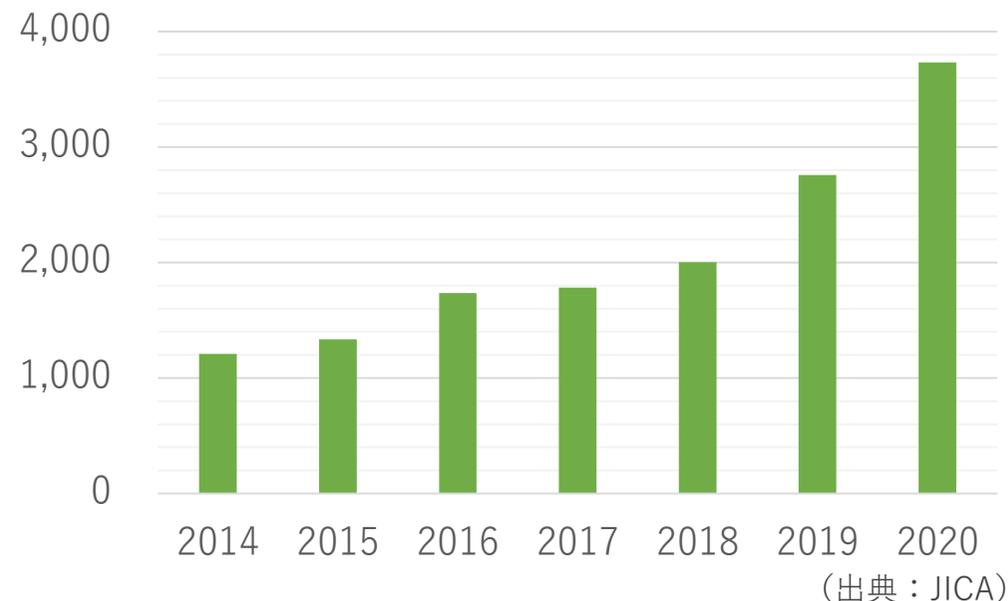
- 経済特区整備による産業多角化・市場拡大
- 玄関口としてのマタバリ深海港整備
- ダッカ⇄マタバリの接続＝物流がボトルネック

■ 日バ友好の歴史とこれから

- **1971年** **バ国独立**
- 1972年** **(世界に先駆けて)日バ友好樹立**
- 1973年 青年海外協力隊派遣開始
- 1974年 日本の支援によりバ国が国連加盟
- 1977年 日本赤軍日航機ハイジャック事件
- 1986年～ 日本がバ国に対するトップドナーに
- 2014年 ハシナ首相来日・安倍首相バ国訪問
- 2016年 ダッカテロ事件
- 2019年 ハシナ首相来日
- 2020年 ボンゴ・ボンドゥ※生誕100周年
- 2021年** **バ国建国50周年**
- 2022年** **日バ友好樹立50周年**
- ▼ 2023年 青年海外協力隊派遣50周年

※シェイク・ムジブル・ラーマン
(建国の父、ハシナ首相の父、ボンゴ・ボンドゥは「ベンガルの友」の意)

【バ国に対する円借款供与額 (億円)】



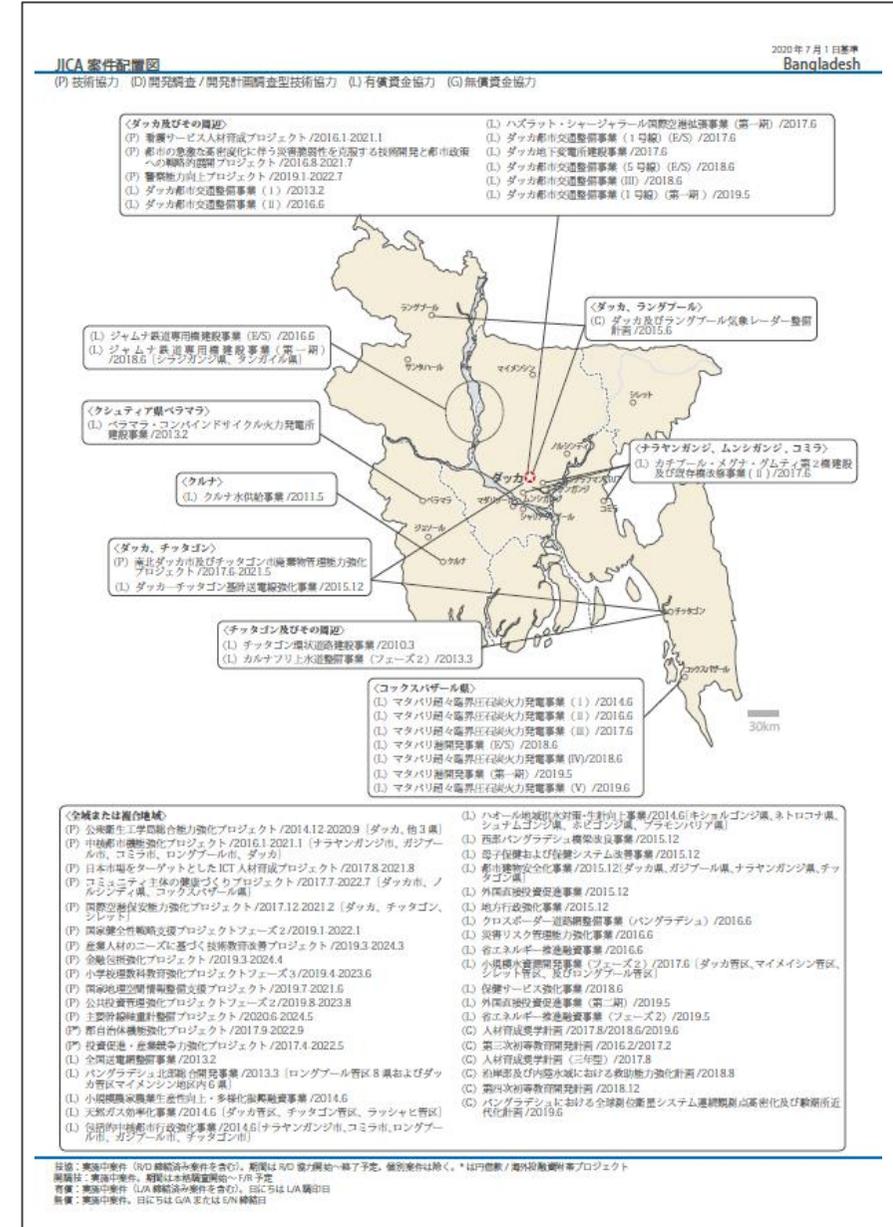
【日本の国旗との類似性に隠された秘話】

- 2014年に来日したシェイク・ハシナ首相は、父親で初代バ国大統領シェイク・ムジブル・ラーマン氏が、独立に伴う1972年の国旗制定時に「日本に魅せられ、日の丸のデザインを取り入れた」との秘話を明かしている。
- ラーマン氏は「農業国だった日本が工業国に発展したように、バングラディッシュも将来は工業国になるべきだ」と話していたという。

1-6. JICAによる主なODA案件

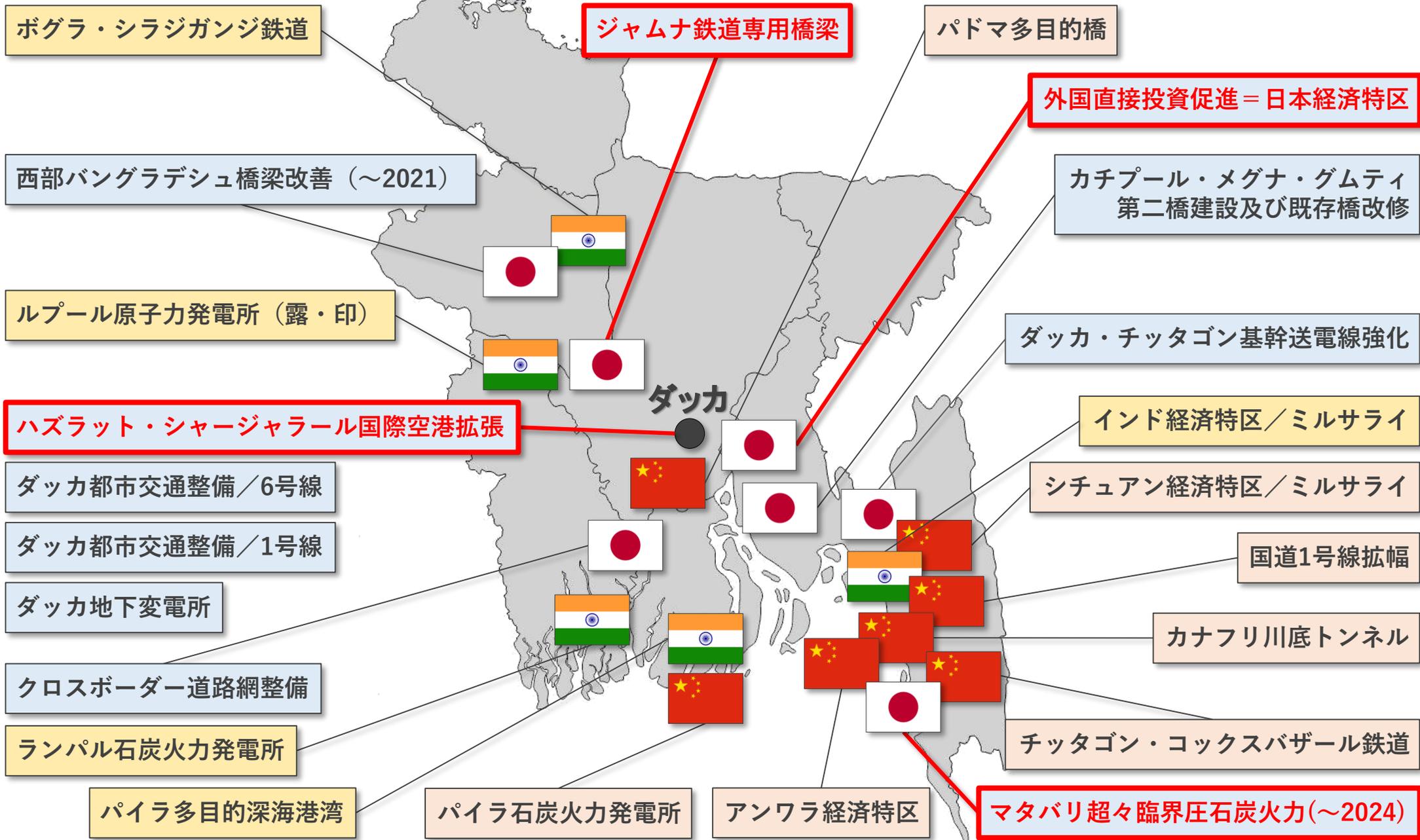
2019	● カチプール・メグナ・グムティ橋／817億円
2020	● 全球測位衛星システム連続観測点：13億円※
2021	● カルナフリ上水道整備事業：348億円 ● 海上保安救援艇：27億円※
2022	● 外国直接投資促進事業（経済特区）：370億円 ● ダッカ都市交通整備事業（6号線）：1,653億円
2023	● ジャムナ鉄道橋：372億円 ● 気象レーダー整備：29億円※
2024	● マタバリ石炭火力発電所：3,005億円 ● ダッカ空港ターミナル拡張：768億円
2025	
2026	● マタバリ港開発事業：389億円

(※無償案件、2021年1月時点の確定供与額／一部追加供与予定有り)



(出典：JICAホームページ)

1-7. 主なインフラ開発案件(日・中・印)



■ 二大政党による政権争い

与党／アワミ連盟



党首：シェイク・ハシナ
(ムジブル・ラーマン初代大統領の娘、71歳)

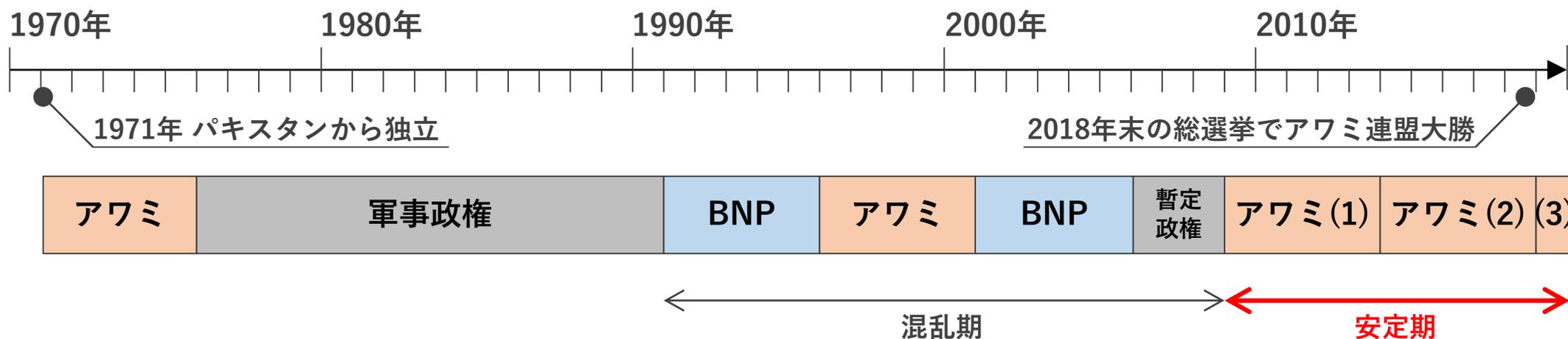
中道左派。親日・親インドといわれる。2018年末の総選挙で小選挙区300議席中288議席以上を獲得し、3期連続の政権を維持 (~2023年末)。

野党／バングラデシュ民族主義党



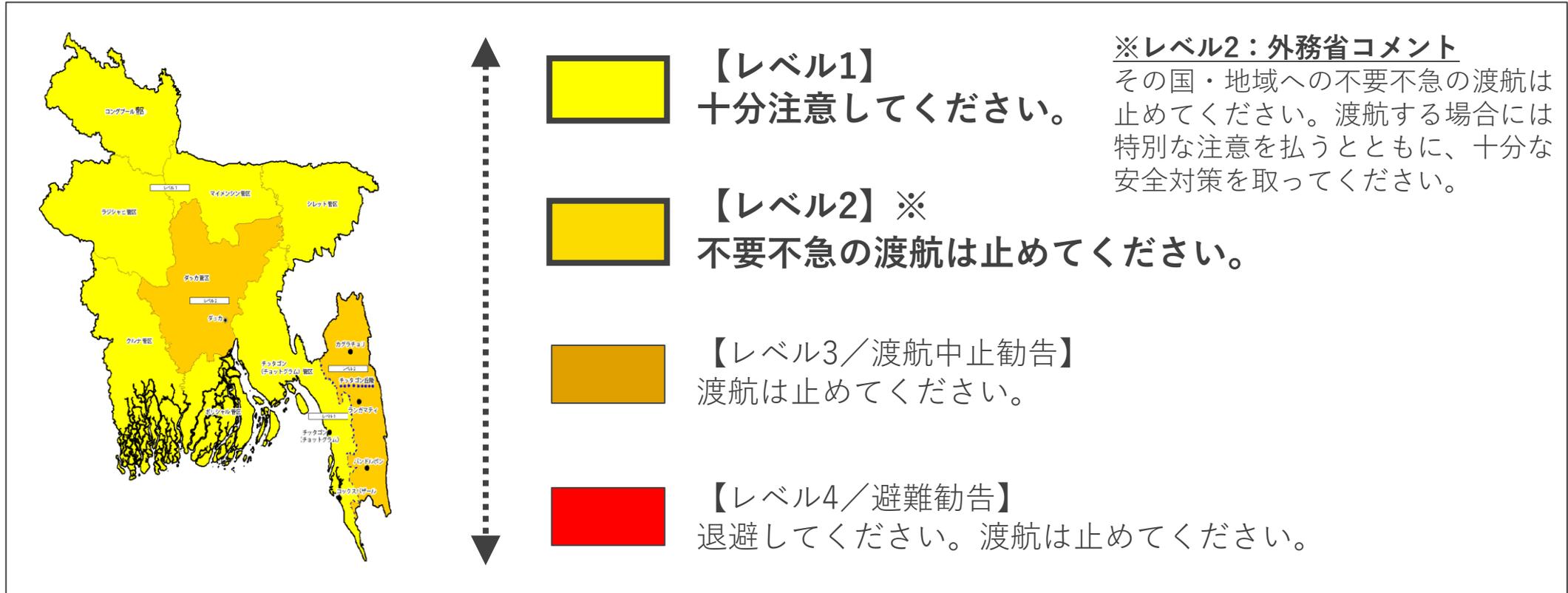
党首：カレダ・ジア
(ジアウル・ラーマン第4代大統領の妻、74歳)

民族主義の中道右派。軍人や旧ムスリム連盟系政治家等が集まった官製政党。



■ 外務省 渡航情報

(出典：外務省／2021年1月時点)



- 2016年ダッカテロ事件後、バ国全土が「レベル2」指定となっていたが、政府による対策によりテロの脅威が収束。2019年10月にダッカ管区及びチッタゴン丘陵地を除き「レベル1」へ引き下げされている。
- 引き続き一定程度の警戒が必要とは言え、治安情勢は改善傾向にあり、民間企業の投資は旺盛な状況。

1-10. バ国とアジア諸国との比較

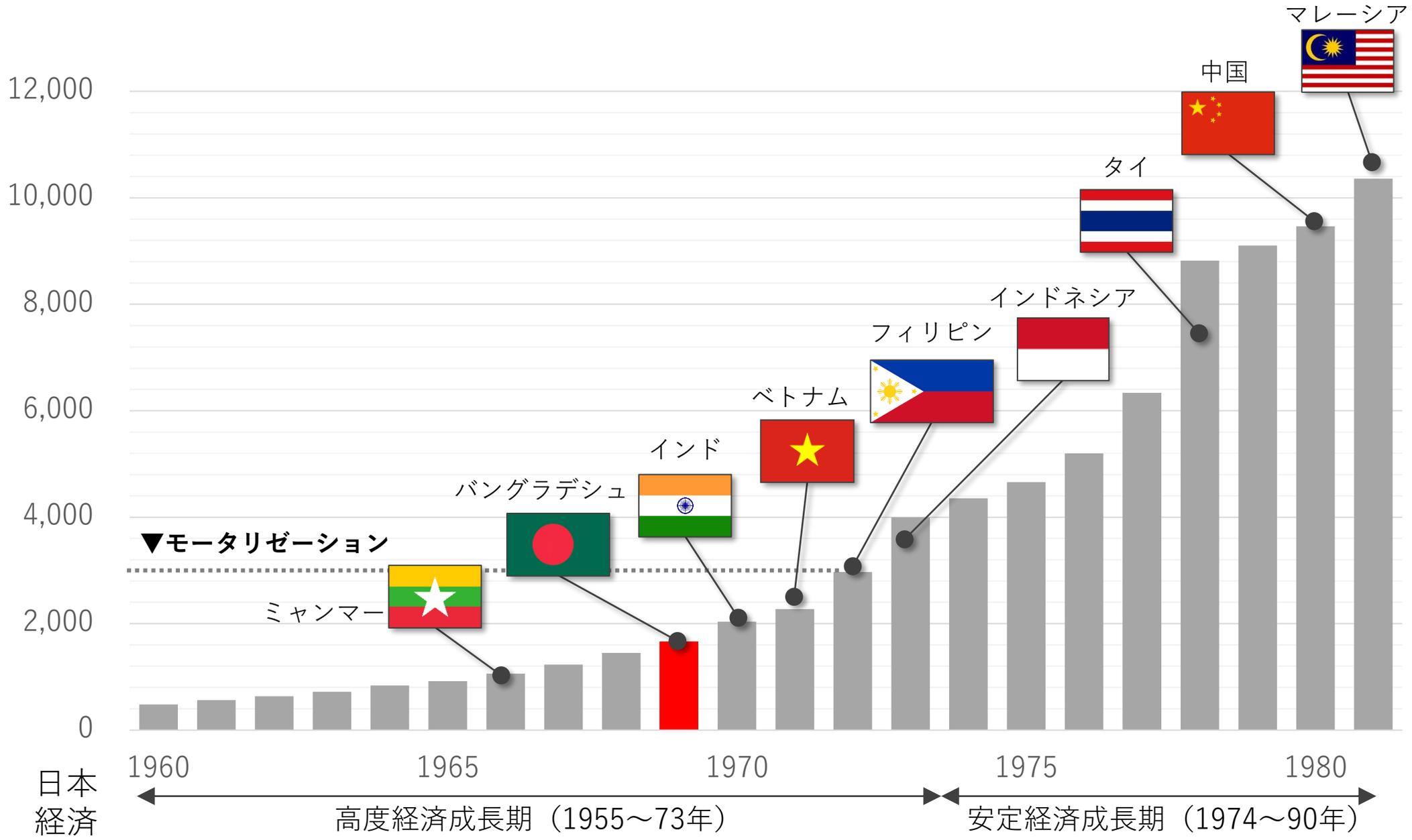


	バングラデシュ (ダッカ)	ベトナム (ハノイ)	フィリピン (マニラ)	インドネシア (ジャカルタ)	ミャンマー (ヤンゴン)	インド (チェンナイ)
人口	1億6,555万人	9,549 万人	1億916万人	2億6,868万人	5,302万人	13億2,417万人
名目GDP	\$2,740億	\$2,449億	\$3,309億	\$10,422億	\$712億	\$27,263億
名目GDP/人	\$1,698	\$2,564	\$3,103	\$3,894	\$1,326	\$2,016
ワーカー賃金	\$109	\$217	\$234	\$308	\$162	\$284
識字率	72.9%	93.4%	95.4%	92.8%	92.7%	73%
電気代(kwh)	\$0.09	\$0.07	\$0.21	\$0.07	\$0.05	\$0.12
電気の質	×	○	○	○	△	×
法人税率	32.5%	20%	30%	25%	25%	29%
物流	×	○	○	△	△	×
通関	×	○	○	○	○	×
現地調達	×	△	△	○	×	○
自然災害	×	-	-	-	-	-
行政手続き	×	○	○	△	△	×
外貨管理	×	○	○	○	△	△

(出典：JETRO, IMF, World Bankのデータをもとに作成、○△×評価は発表者作成)

1-11. 日本の一人名目GDP推移とアジア諸国 Sumitomo Corporation

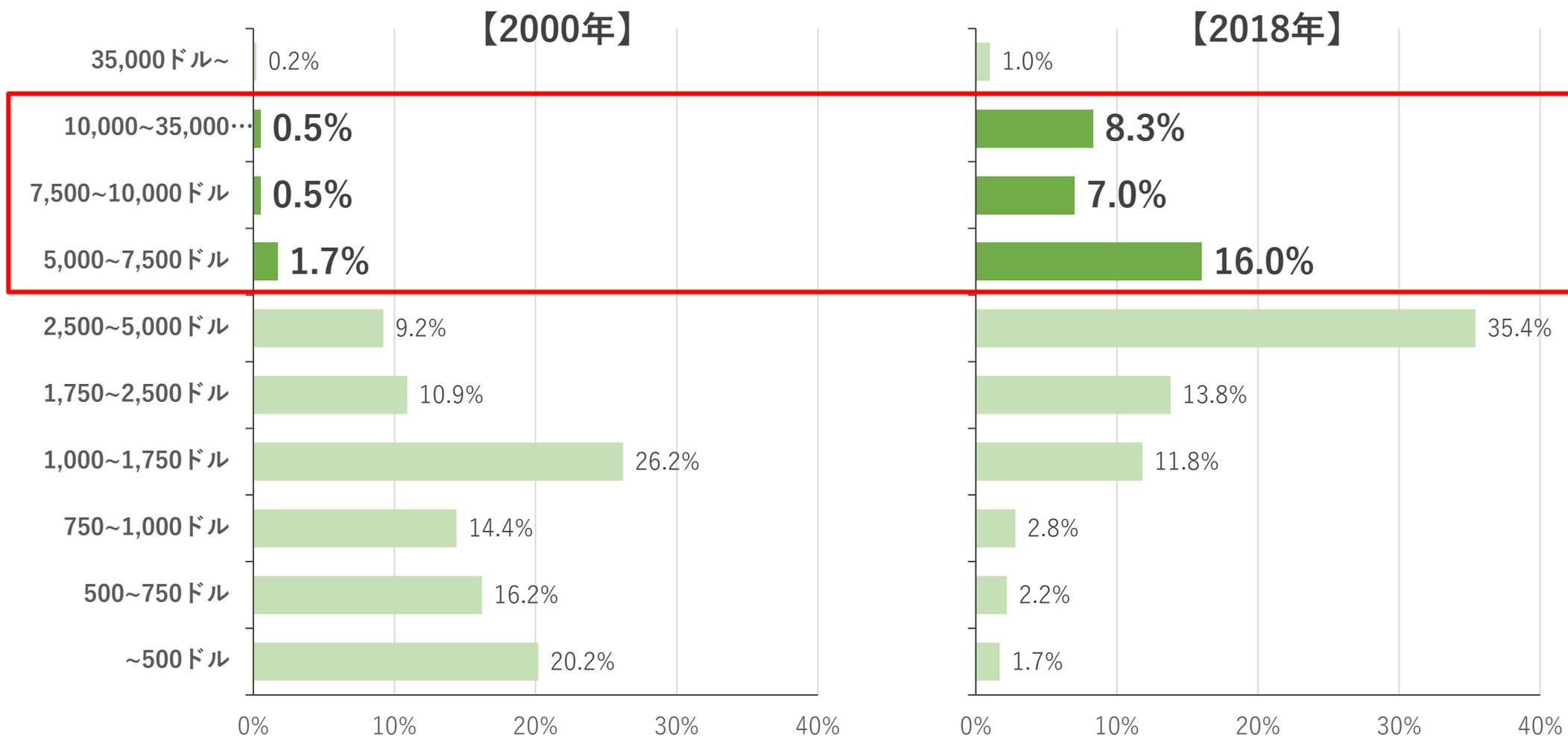
Enriching lives and the world



(出典：IMF, World Bankのデータをもとに作成)

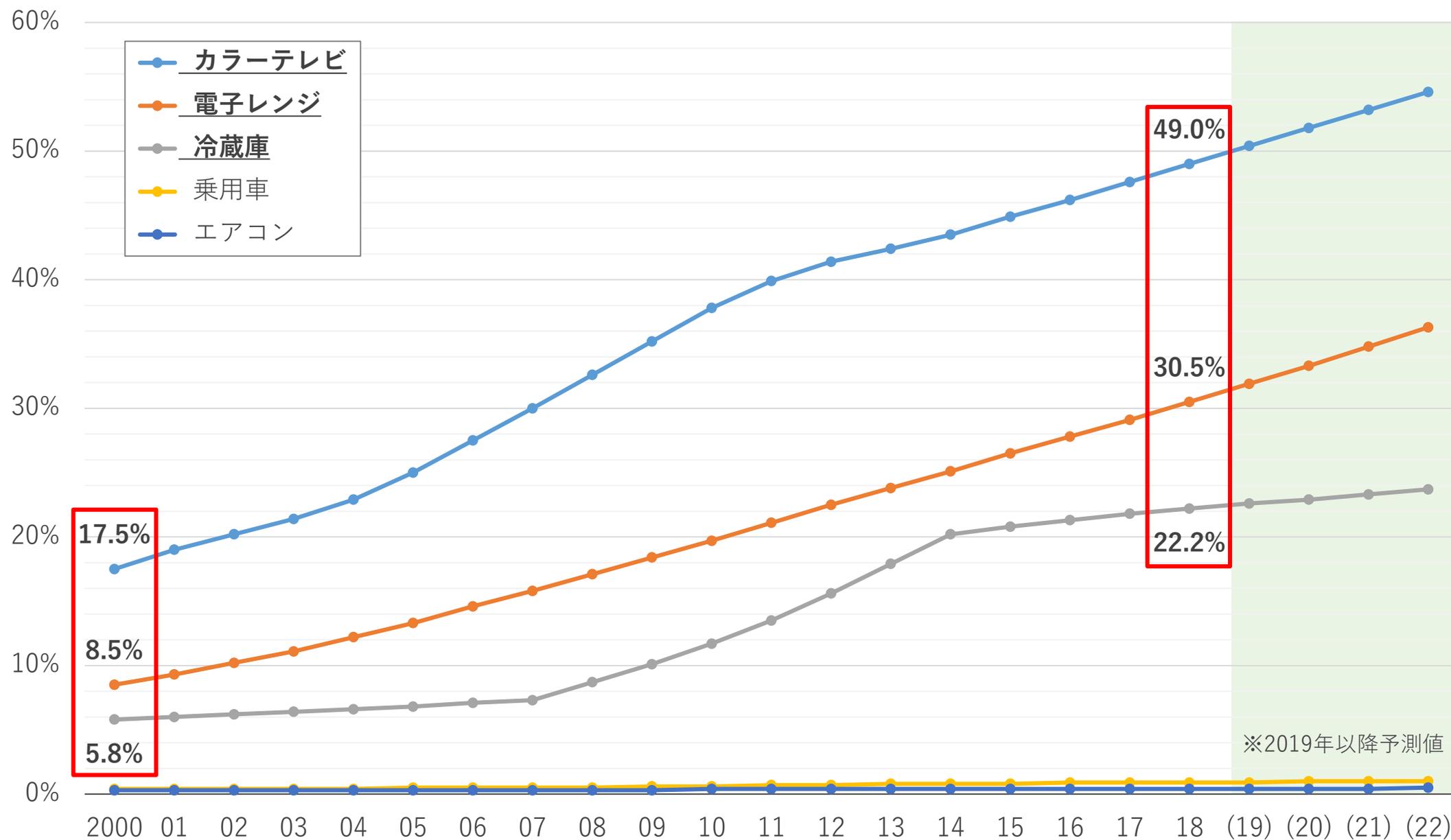
1-12. バングラデシュの世帯所得分布

- 中間所得層（世帯所得5,000～35,000ドル未満）が急増
- 貧困層の比率も劇的に改善→LDC卒業へ



(出典：経済産業省データをもとに作成)

1-13. 耐久消費財の普及率

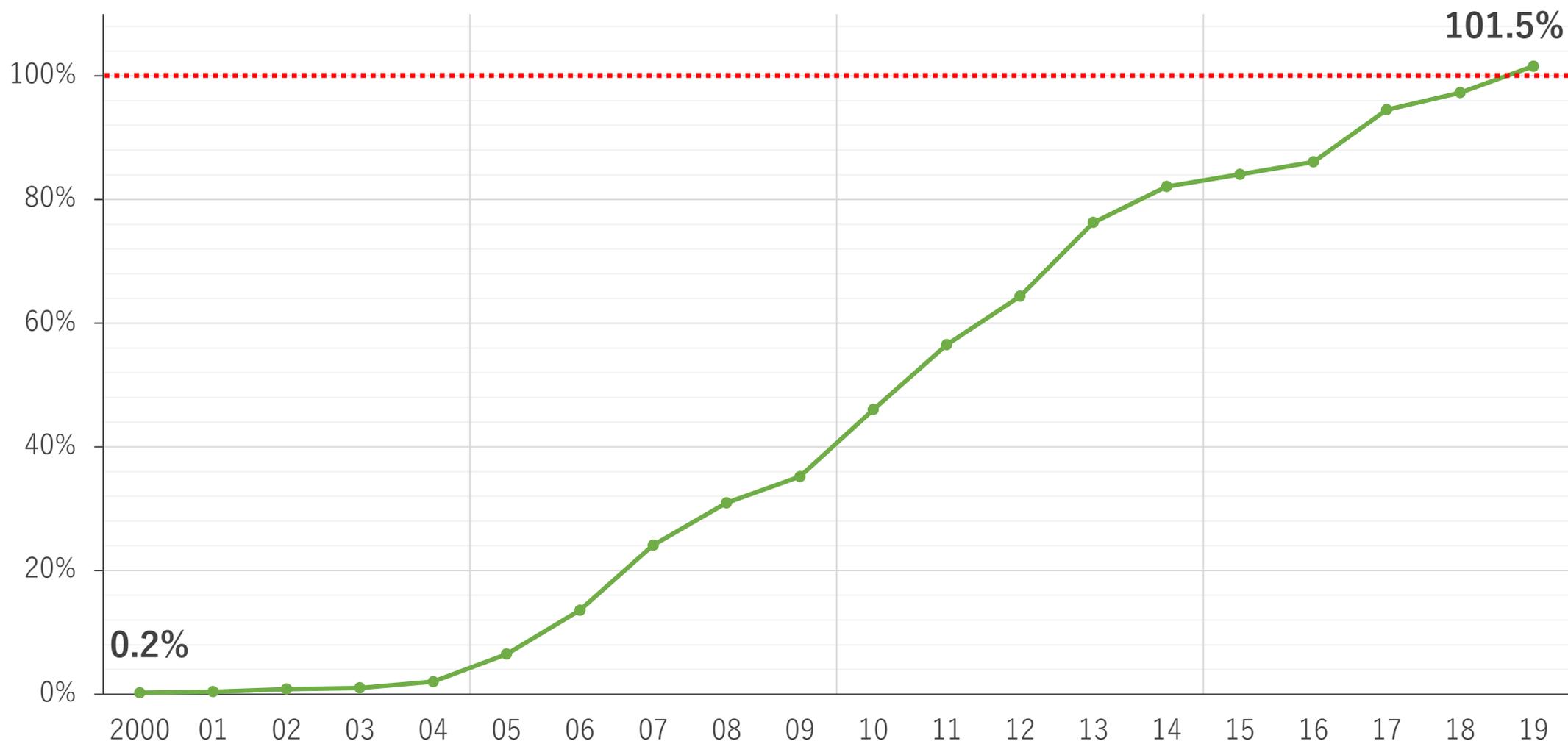


※2019年以降予測値

(出典：経済産業省データをもとに作成)

1-14. 携帯電話の普及率

- 2000年代前半から急速に普及
- 2019年に携帯電話普及率100%を突破



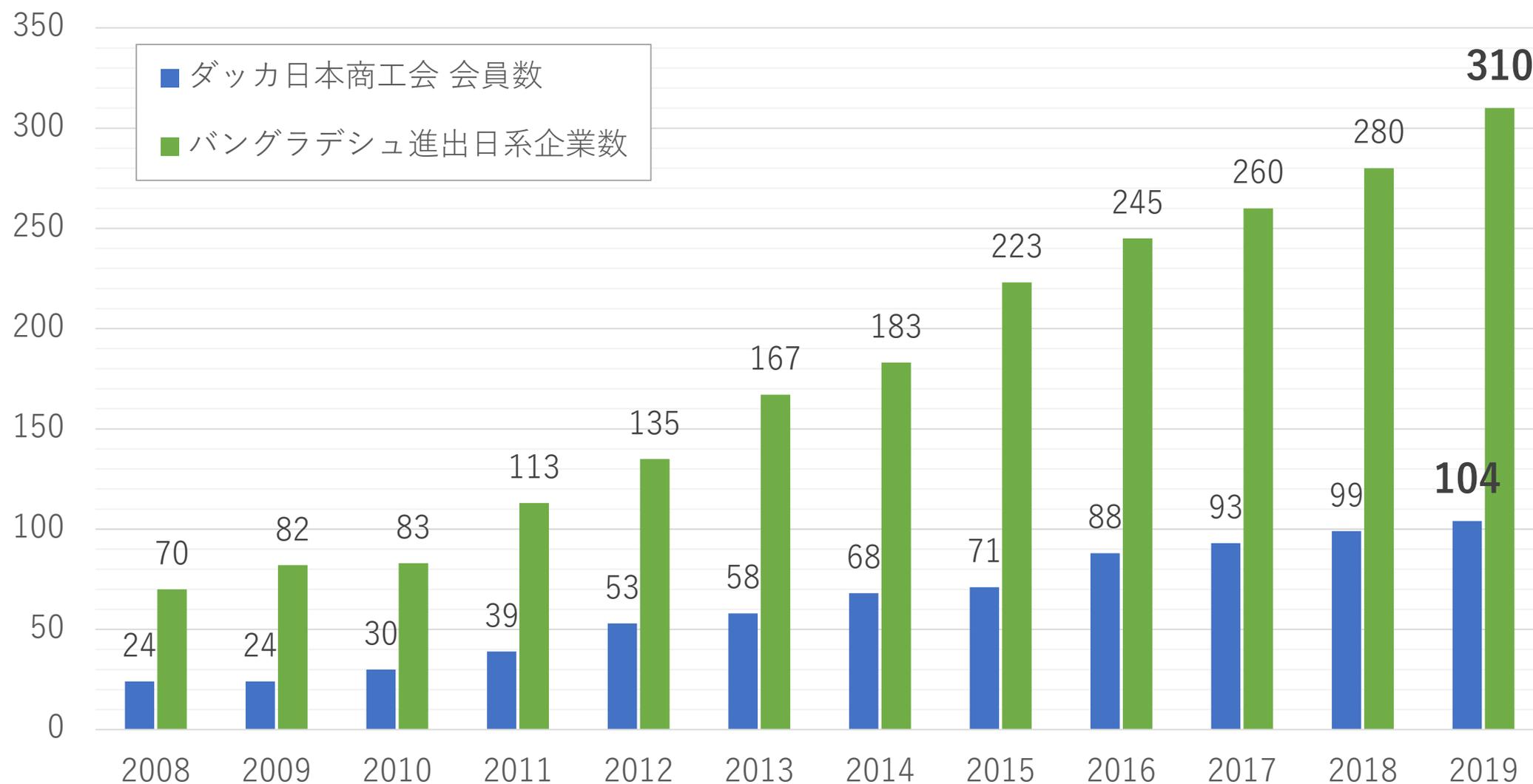
(出典：世界銀行データをもとに作成)

資料から割愛

資料から割愛

1-17. バングラデシュ進出日系企業数の推移

着実に増加する日系企業のバ国進出

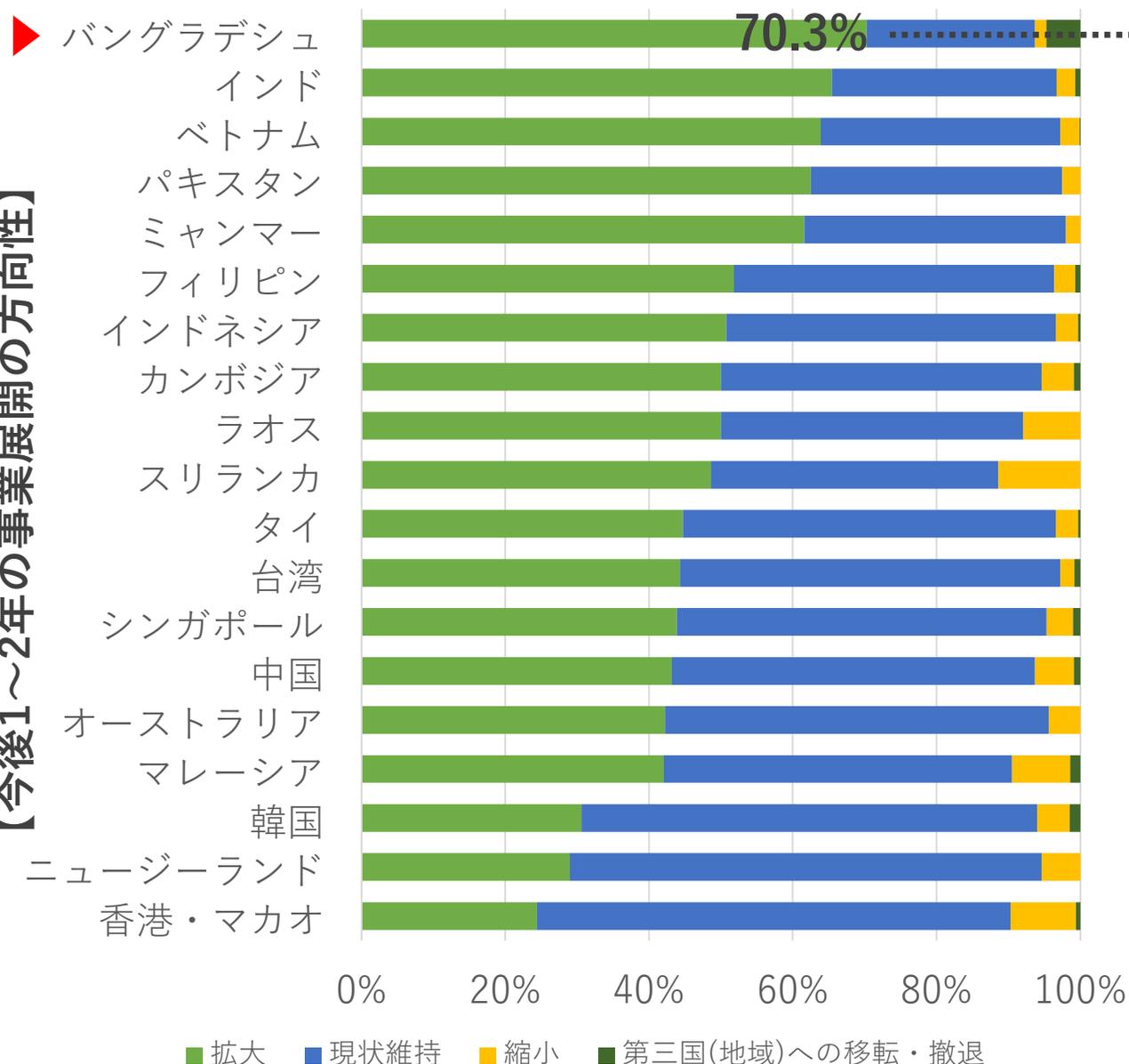


(出典：JETRO資料をもとに作成)

1-18. バ国進出済み日系企業の評価

進出済み日系企業の評価は高く、各社拡大路線

【今後1～2年の事業展開の方向性】



拡大の理由

製造業・作業員 賃金(月額)

109ドル

製造原価(日本を100とした場合)

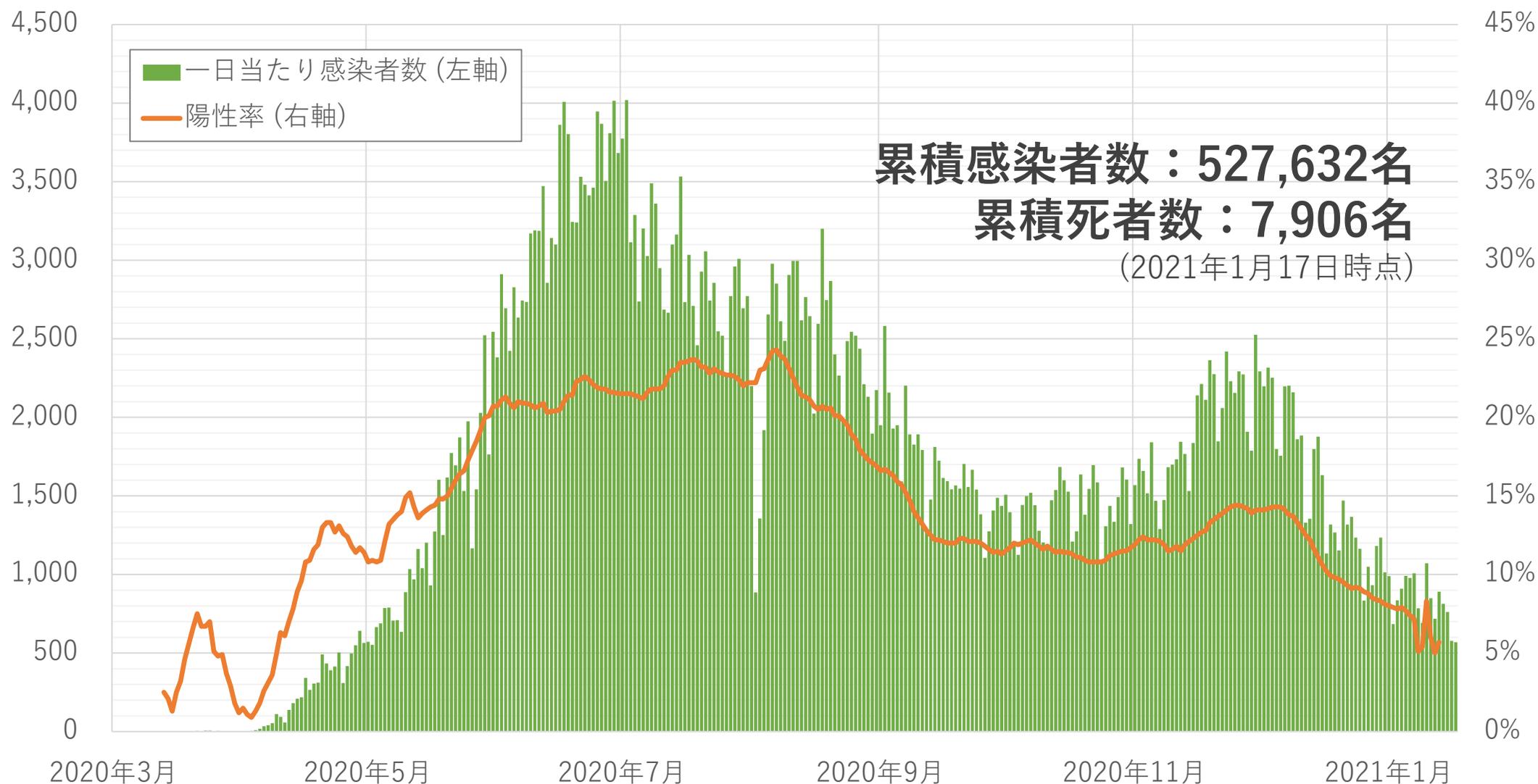
51.2

- 成長性・潜在力の高さ
- 輸出拡大による売上増加
- コストの低下
- 労働力確保の容易さ

ただし品質管理、従業員の質、通関に関わる時間・手続きの煩雑性等が課題になっている。

(出典：2019年11月JETRO調査をもとに作成)

感染者数・陽性率とも低位安定／但し他国同様、再拡大に未だ懸念あり



(出典：Our World in Data / 2021年1月17日時点)

1-20. バングラデシュの医療事情

地区	病院	一般病床		ICU	
		病床数	空床率	病床数	空床率
ダッカ	Japan East West Medical College Hospital	25	80.0%	17	76.5%
	Yamagata Dhaka Friendship Hospital	10	50.0%	12	25.0%
	Square Hospital	74	70.3%	25	80.0%
	United Hospital	80	72.5%	22	77.3%
	Evercare Hospital	28	17.9%	20	50.0%
チッタゴン	Chattogram Medical College Hospital	200	55.5%	10	60.0%
	Holy Crescent Hospital	100	100.0%	10	100.0%
	Chattogram Mother and Child Hospital	118	56.8%	10	0.0%

(2021年1月18日時点／Japan East West Medical College Hospital調べ)



Positive
(中長期)

- ゴールドマンサックス：ネクスト11
- JPモルガン：フロンティア5
- PwC：2050年に世界23番目の経済大国※
(※2014～2050年までの平均経済成長率4.4%との見方)

GAP

- 電力インフラ
- 交通・物流インフラ
- 産業構造（縫製業依存）
- 教育・文化
- 医療・衛生・防疫
- 政府の実務能力・汚職

バ国の課題
||
ビジネスチャンス

Negative
(短期)

- 世界銀行：Ease of Doing Business 168位／190カ国
- 世界経済フォーラム：
Global Competitiveness Index 105位／141カ国
- EIU：Liveability ランキング 138位／140都市

1-22. バングラデシュの実質GDP推移と成長率

【棒グラフ：実質GDP(億ドル)】

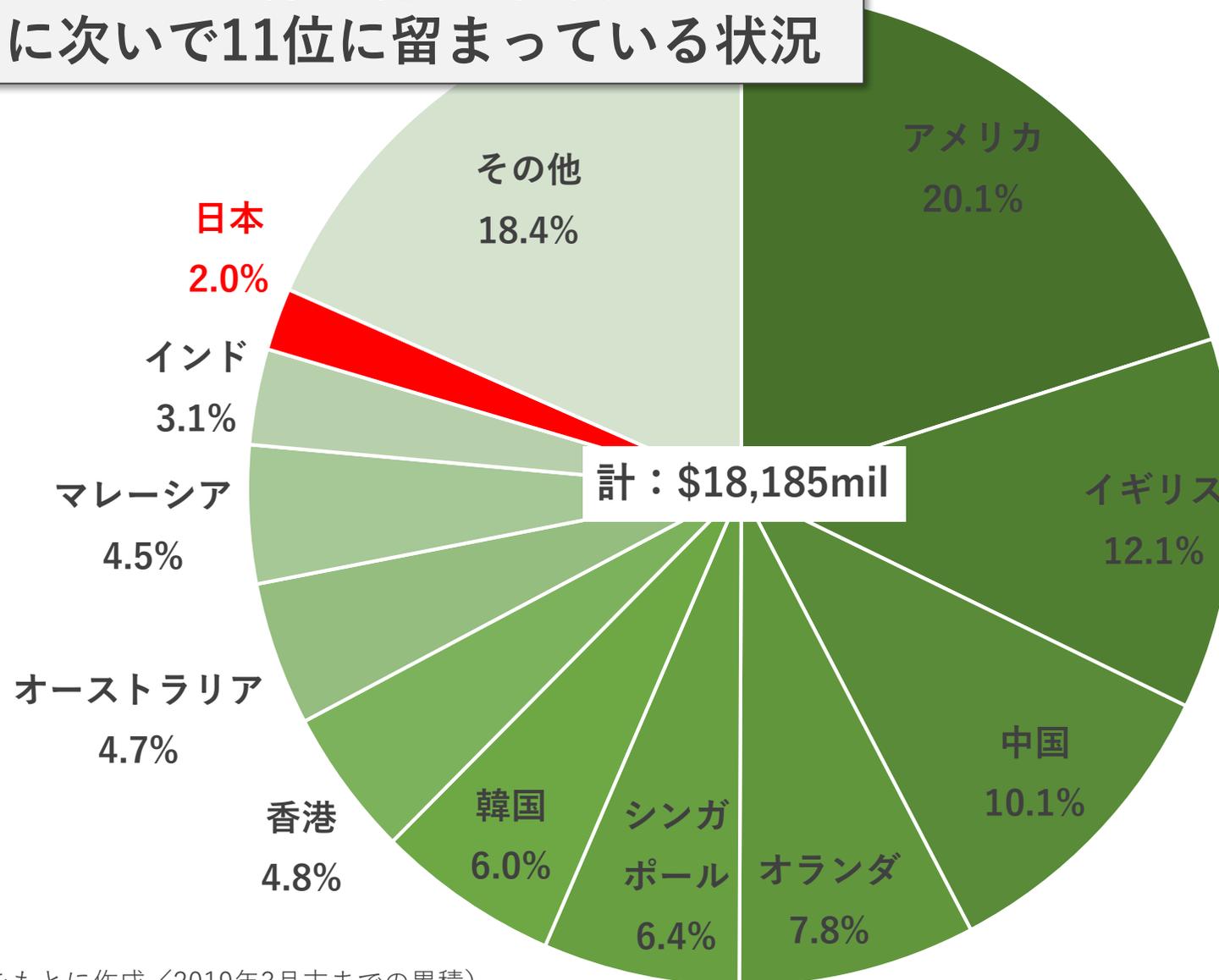
【折れ線グラフ：GDP成長率】



(出典：World Bankデータをもとに作成)

1-23. 外国直接投資／累積・投資国別

- 日本からの累積FDI金額は全体の約2%程度
- 投資国別でインドに次いで11位に留まっている状況



(出典：バングラデシュ中央銀行データをもとに作成／2019年3月末までの累積)

世界が注目する潜在力

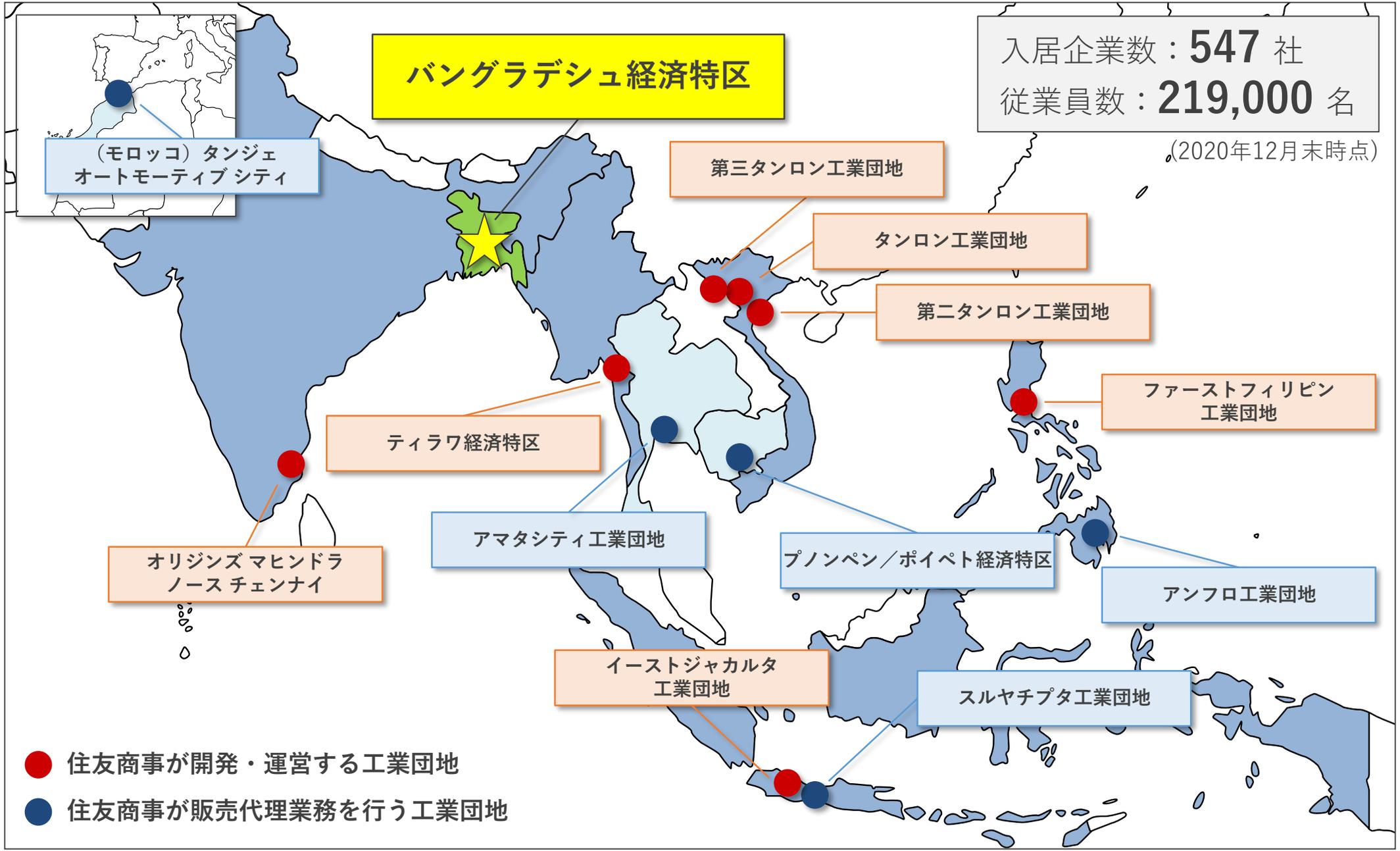
- 地政学的優位性
- 世界最高水準の経済成長
- 1億7千万の人口・世界一の人口密度
- 安価で豊富な労働力
- 地場財閥の存在
- 世界のドナーによる多大な援助



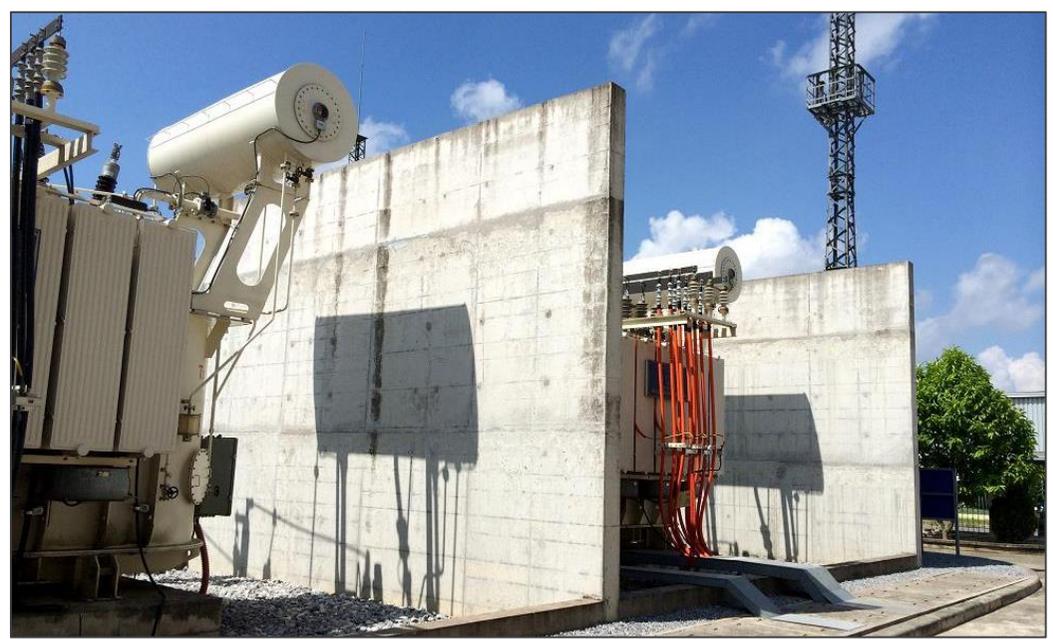
(出典：World Bankデータをもとに作成)

2. バ国における経済特区事業

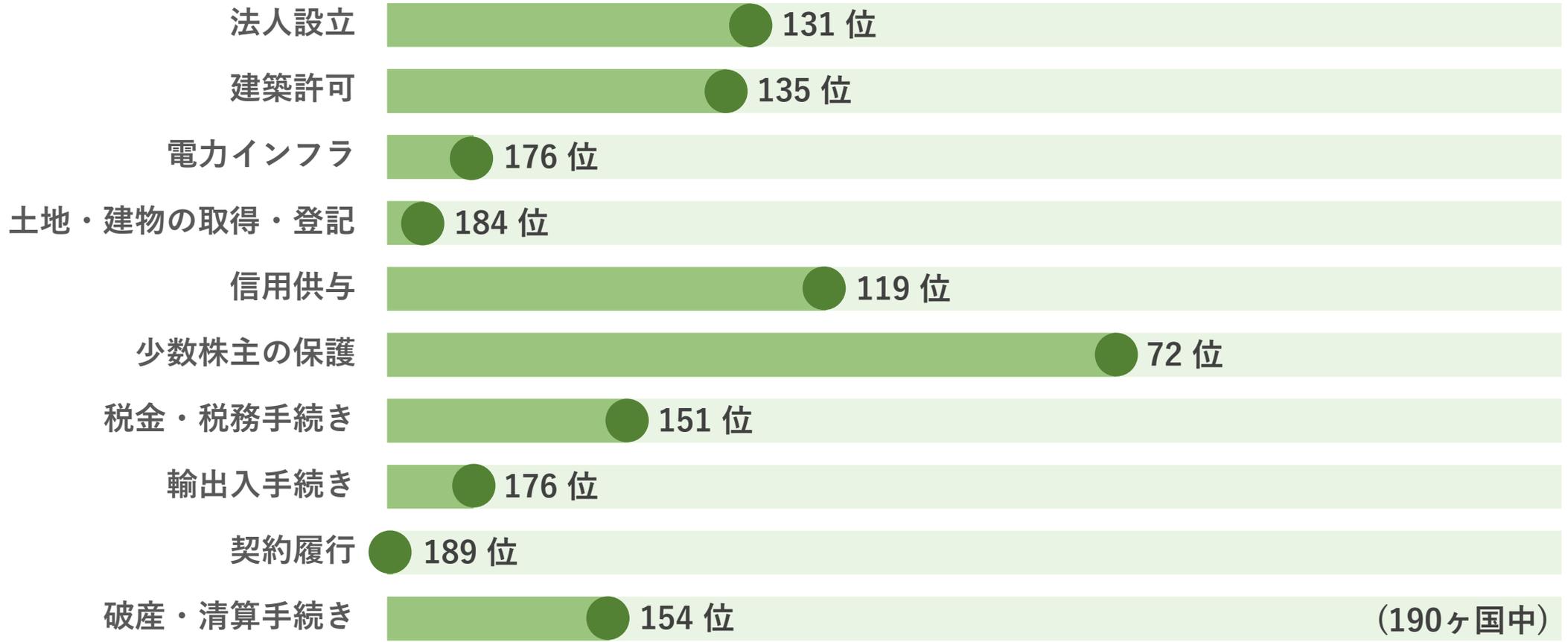
2-1. 住友商事の工業団地事業



2-2. 工業団地とは

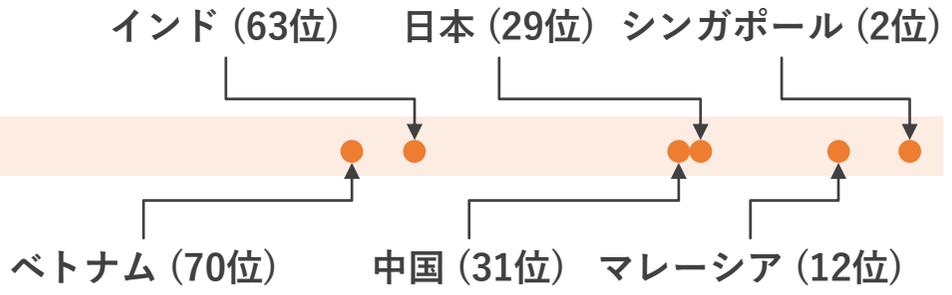


2-3. バ国の世銀Doing Business評価



バングラデシュ総合評価

168 位



(出典：World Bank Ease of Doing Business 2020をもとに作成)

資料から割愛

資料から割愛

2-6. バ国政府との合弁契約書締結 (2019年5月)



JOINT VENTURE AGREEMENT SIGNING CEREMONY
Between
Bangladesh Economic Zones Authority (BEZA)
&
Sumitomo Corporation, Tokyo, Japan
for
Developing Bangladesh Special Economic Zone
(Japanese Economic Zone)

◆ **Sumitomo Corporation**

- Chief Guest : **Mr. Md. Nojibur Rahman**, Principal Secretary to the Honorable Prime Minister
- Guest of Honor : **Mr. Md. Abul Kalam Azad**, Principal Coordinator (SDG), Prime Minister's Office
- Special Guest : **Mr. Sajjadul Hassan**, Secretary, Prime Minister's Office
- Mr. Takeshi Ito**, Minister, Embassy of Japan in Bangladesh
- Mr. Yoshibumi Bito**, Senior Representative of JICA Bangladesh Office
- Mr. Yasushi Fukuda**, General Manager, Sumitomo Corporation
- Chair : **Mr. Paban Chowdhury**, Executive Chairman (Secretary), BEZA

2-7. バングラデシュ経済特区

■ 事業概要

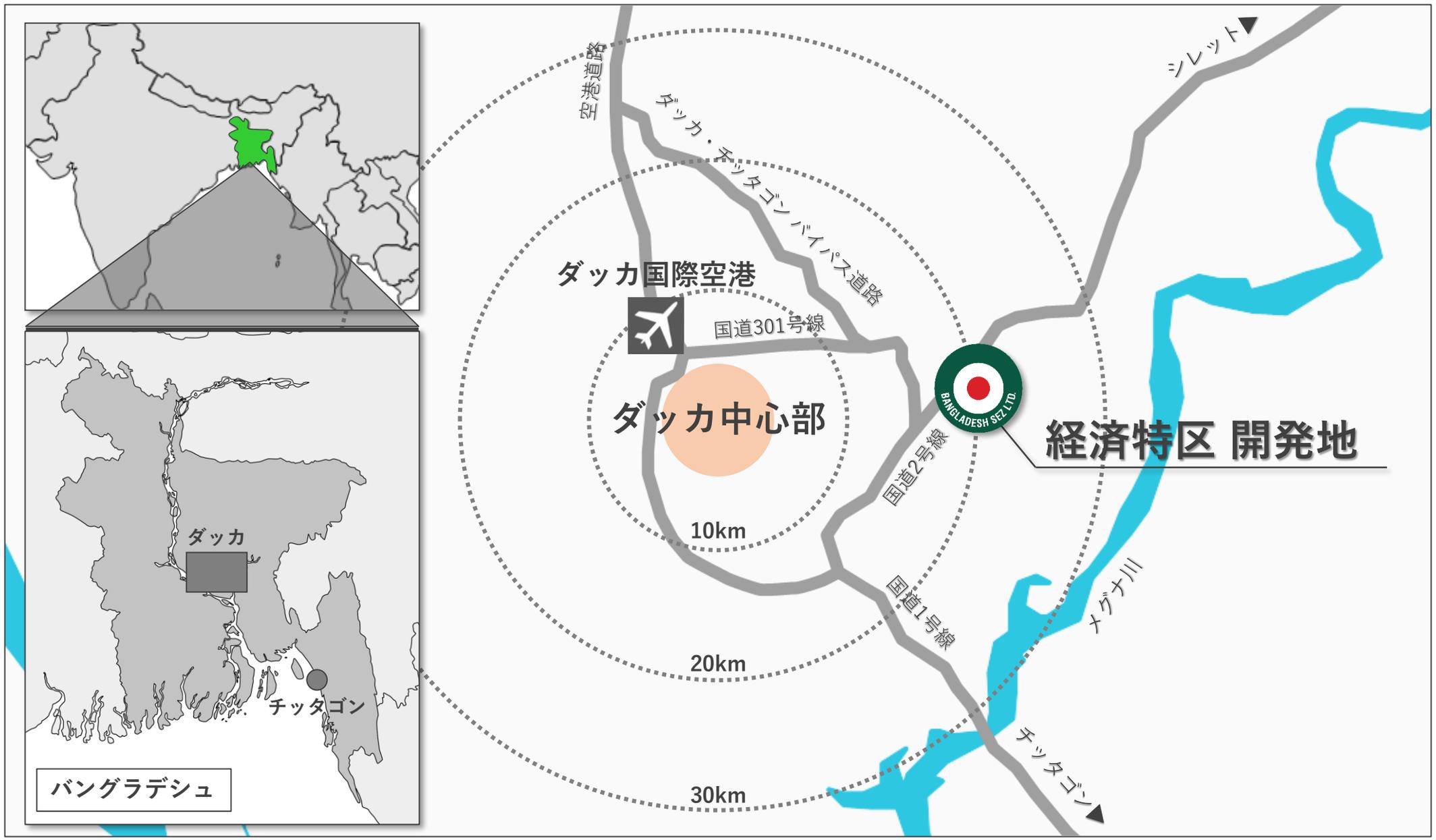
経済特区名	バングラデシュ経済特区 (英名: Bangladesh Special Economic Zone)
開発候補地	ナラヤンガンジ県アライハザール地区 (ダッカ中心部から直線距離で約20km/車で約1時間)
開発面積	第一期: 190ha (最大400ha程度まで拡張検討)
出資比率	住友商事株式会社: 76%、バングラデシュ経済特区庁 (BEZA): 24%
優位性	国際水準のインフラ、One Stop Service Center設置によるスムーズな行政手続き
日バ政府支援	周辺インフラ (盛土、変電・発電所、アクセス道路他) 整備等へ約370億円の円借款供与

■ 開発スケジュール (計画)

		2018	2019	2020	2021	2022	2023
経済特区庁 (バ国政府)	土地収用	→ 2018年8月完了					
	盛土工事(+4m)				← 先行開発エリア →		→ 拡張エリア (第1期) →
BSEZ社 (開発主体)	運営・販売活動等		▶ 会社登記 (2019年12月完了)			▶ 区画販売開始 (2021年末)	
	造成工事					← 先行開発エリア →	★ 操業開始
御入居企業	工場建設					← 先行開発エリア →	

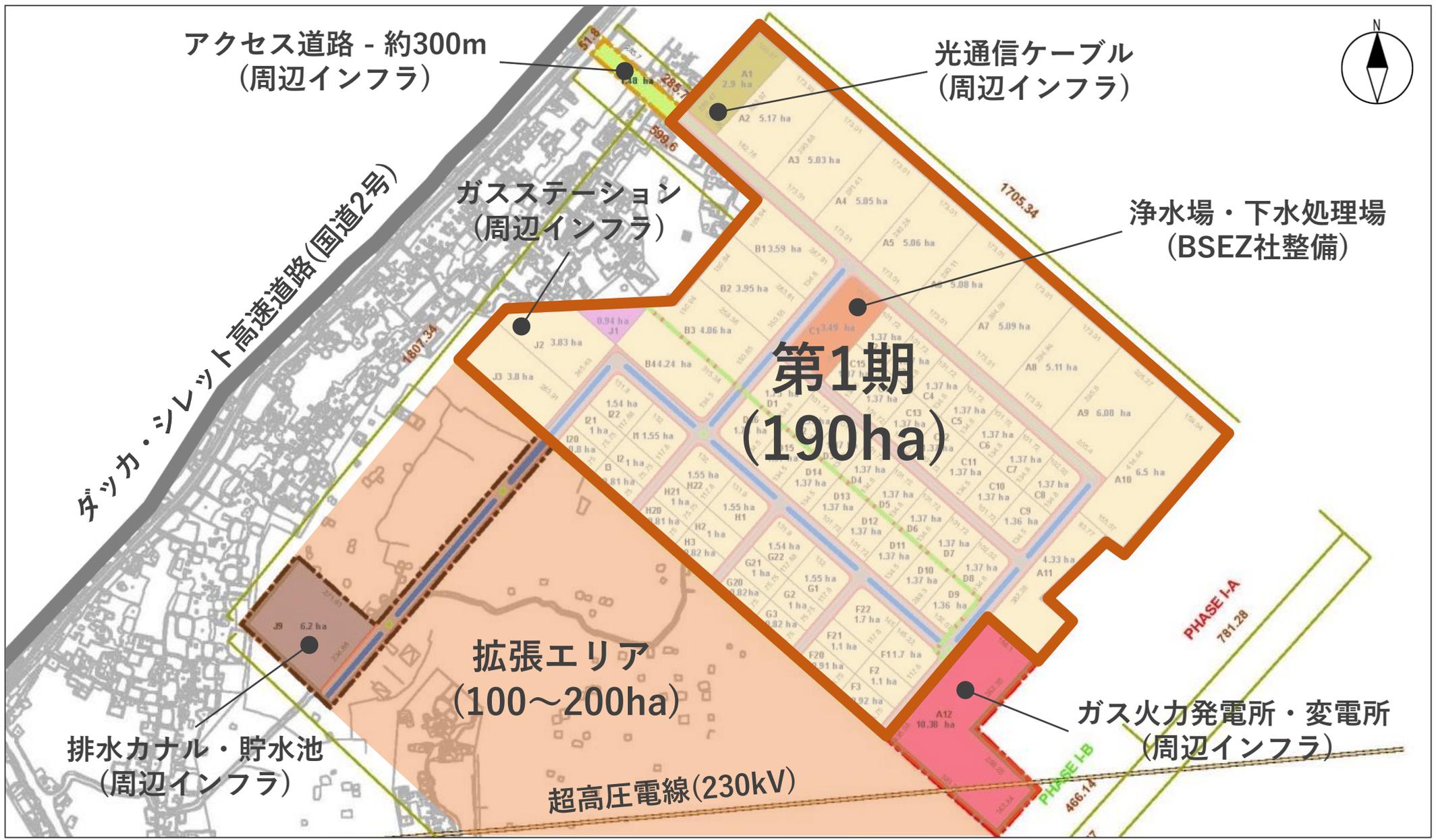
2-8. バングラデシュ経済特区へのアクセス

■ ダッカ中心部から車で約1時間のアクセス

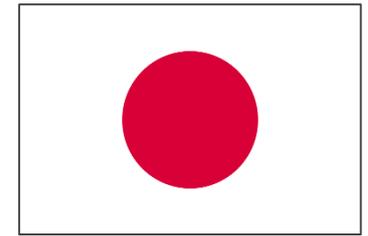


2-9. 開発区画 (基本設計)・周辺インフラ

■ 第1期開発エリア：190ha (+周辺インフラエリア：18ha)



資料から割愛



「バングラデシュ経済特区」は日バ両政府の支援で立ち上がったプロジェクトであり、かつ日本とバングラデシュの産業を繋ぐためのプラットフォームとして、日バ両国の国旗をイメージしたブランドロゴを作成。

2-12. 開発サイト (造成工事前)



2-13. サインボード



2-14. エントランス



2-15. エントランス航空写真



2-16. 盛土工事 (2020年12月)



2-17. 盛土工事 (2021年1月)



ハードのインフラ



ソフトのインフラ



当社機能



住友商事

Enriching lives and the world

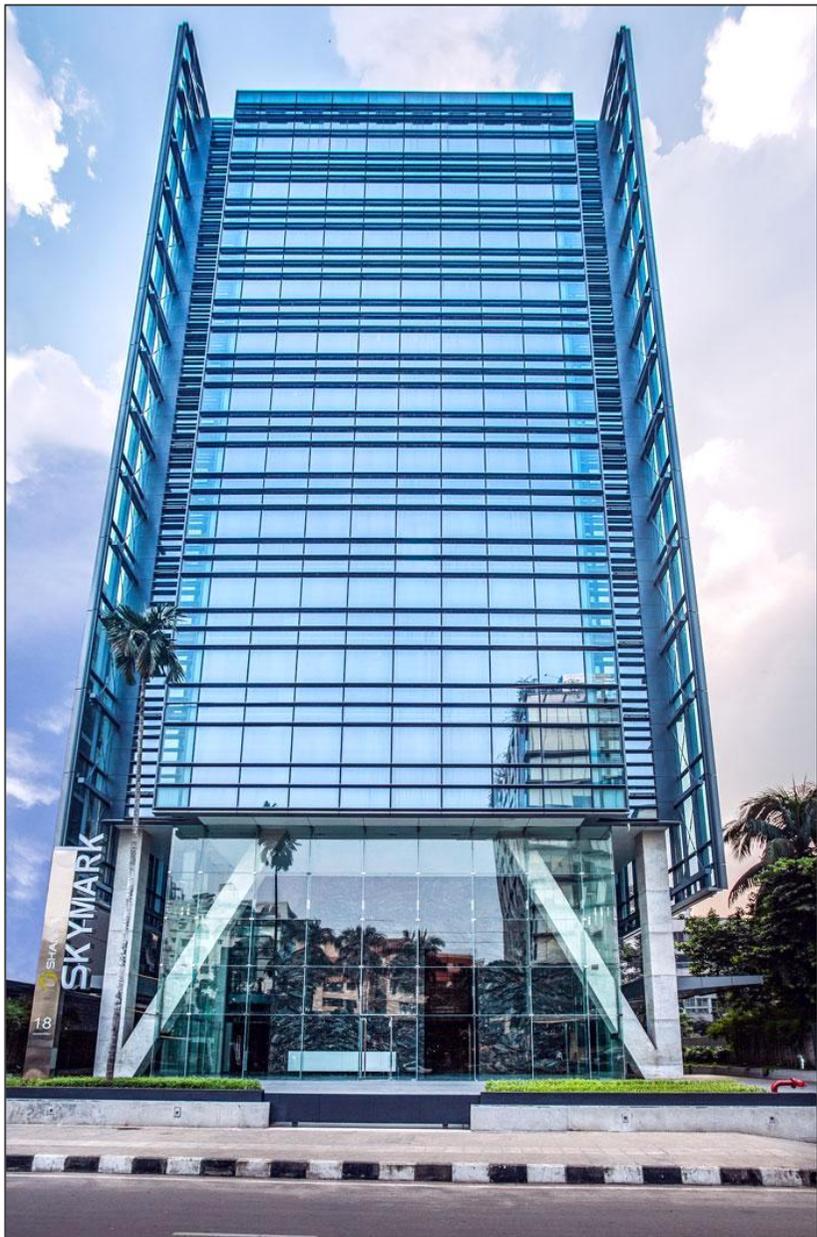
- 円借款(総額約270億円)による **国際水準の周辺インフラ整備**
- 専用発電所、230/33kV変電所設置
- 100年確率洪水計算に基づく **洪水対策**
- 浄水場・下水処理場の整備

- One Stop Service Center (**OSSC**) による会社設立、投資許認可取得サポート
- 経済特区内に **税関・警察・消防署** を設置
- 汚職撲滅宣言

- 30年に亘る工業団地の開発運営実績、事業ノウハウ
- 日バ両政府との **強固なネットワーク・官民協業事業**
- 住友商事グループとしての **パッケージサポート**

産業多角化 × 雇用創出

BANGLADESH SEZ LTD



The Skymark (7th Floor), 18, Gulshan Avenue, Gulshan-1, Dhaka





ご清聴ありがとうございました

資料や説明に関するご質問、バングラデシュにおける事業のお問合せ等御座いましたら、下記連絡先まで遠慮なくご連絡下さい。

アジア大洋州住友商事会社 ダッカ事務所

高橋 一郎 (タカハシ イチロウ)

✉ ichiro.takahashi@sumitomocorp.com
☎ +880-(0)19-1200-3009

田川 智晴 (タガワ チハル)

✉ chiharu.tagawa@sumitomocorp.com
☎ +880-(0)19-1142-7701